

9:30	受付開始	
10:00~10:10	開会挨拶	吉田 眞 日本クラウドセキュリティアライアンス会長 東京大学名誉教授
10:10~10:50	基調講演 1	Jim Reavis CEO, Cloud Security Alliance (同時通訳) 「エンタープライズグレードのクラウドセキュリティ構築から学ぶこと (Lessons Learned Building Enterprise-Grade Cloud Security)」 このプレゼンテーションでは、複数の大規模組織によるクラウドへの移行に関するいくつかのケーススタディを提供します。旧式のセキュリティプラクティス、規制上の課題、クラウド対応のセキュリティプログラムを再構築するための道筋などを教訓として学びます。 (This presentation provides several case studies of the migration to cloud by several large organizations. We discuss the key lessons learned, including outdated security practices, regulatory challenges and the path forward to rearchitecting security programs to be cloud ready.)
10:50~11:10	コーヒープレーク / 展示紹介 / 協賛企業展示	
11:10~11:40	招待講演 1	河野省二氏 日本マイクロソフト株式会社 Chief Security Officer 「クラウド時代のセキュリティ基盤の考え方と作り方」 セキュリティ人材を確保しようといっても一朝一夕に人材はつくれないし、雇用しようにも良い人が見つからない。そう嘆いている経営者の方に知っていただきたい、リソース確保、セキュリティ計画のための準備としてのセキュリティ基盤の作り方を解説します。
11:40~12:10	協賛講演 1	高岡隆佳氏 株式会社シマンテック エバンジェリスト 「CASBの理想と現実とこれから ~ウェブセキュリティと一体化していく CASB」 CASBが日本でも注目されるようになった昨今、すでにCASB成熟期を迎えている欧米では、導入後に様々な課題が見られCASBの乗り換えや、CASB導入のポイントに変化が起きています。そんなCASBのリアルとこれからの方向性について解説いたします。
12:10~13:10	昼食休憩 / 協賛企業展示	
13:10~13:40	招待講演 2	高橋悟史氏 株式会社セールスフォース・ドットコム Security Specialist 「SaaSにおけるセキュリティ最新動向、国内ユーザの導入状況と導入にあたってのセキュリティのポイント」 急速にクラウドの導入、特にIaaSの導入が進んでいます。一方で、営業部門、サポート部門などのLOBではシステムの運用管理が必要ないSaaSの導入が進んでいます。特に、顧客状況の把握やデジタル戦略といった、流れに乗り遅れないために迅速にサービスを展開する必要のあるユースケースが顕著になっています。SaaSでは、インフラレベルのセキュリティは殆どの部分はサービスプロバイダ側がカバーしますが、IaaSとは別の観点で利用者側の注意が必要です。本セッションでは、IaaSとSaaSのセキュリティ考慮点の差異に着目し、導入にあたってのセキュリティのポイントについて説明します。
13:40~14:10	協賛講演 2	佐々木裕子氏 ファイルフォース株式会社 マーケティングマネージャー エバンジェリスト 「実務からみる、クラウドストレージのセキュリティ考慮ポイント」 企業におけるクラウドストレージ導入が加速していますが、一言でクラウドストレージと言っても多岐に渡るタイプと活用方法があります。それらを簡単に整理しながら、企業におけるファイルサーバの代替手段としてのクラウドストレージを検討する際に見逃されがちなセキュリティ考慮ポイントを解説します。
14:10~14:40	招待講演 3	水江伸久氏 Google Japan、カスタマーエンジニア 「Googleクラウドのセキュリティ」 Googleは、自社のユーザだけでなく、世界中の人々にとって安全なインターネットを実現することを目指しています。Googleクラウドがいかに世界最高レベルのセキュリティを実現しているかをご紹介します。
14:40~15:00	コーヒープレーク / 協賛企業展示	
15:00~15:30	招待講演 4	百瀬孝三氏 日本アイ・ビー・エム株式会社 Watson & Cloud Platform Technical Sales CISSP 「IBM Cloudのセキュリティ実装」 IBMは世界有数のセキュリティ研究・開発機関であるX-Forceを有しています。人が外敵からの防御のために備える免疫システムのように、それぞれ特化した個々のセキュリティ機能によ

		<p>って、企業をサイバー攻撃から守り、与えられたダメージを修復するために連携することで、オンプレからマルチクラウドに至る企業のサイバー・セキュリティ対策をより強固なものにしています。本講演では、IBM Cloudにおけるセキュリティ実装についてご説明します。</p>
15:30~16:00	協賛講演 3	<p>Mr. David Lenoe Director, Product Security, Adobe (同時通訳) 「Making Compliance Count」</p> <p>アドビは主要なソフトベンダーの中で、ビジネス全体をクラウドにコミットした最初の会社として多くを学びました。このユニークな課題に取り組むため、アドビは遵守要件を実践する堅牢な Secure Product Lifecycle (SPLC) プロセスと Common Controls Framework (CCF) (現在オープンソース化) に投資しました。また、既存の取り組みすべてがクラウドサービスをカバーするよう、複雑なタスクを自動化するいくつかの革新的なプログラムとツールも開発。本セッションでは、顧客とコンプライアンス両方の要件を拡大するためのこれらの取り組みをご案内します。</p> <p>(Adobe has learned a lot as one of the first major software vendors to commit its entire business to the cloud. To help tackle the unique challenges that come with such a commitment, Adobe invested in a robust Secure Product Lifecycle (SPLC) process and Common Controls Framework (CCF) (now open source) to help make compliance requirements more actionable. Our teams also developed several innovative programs and tools to help automate complex tasks and ensure our existing efforts cover all of our cloud services. This session will highlight these efforts enabling us to scale as both customer and compliance requirements grow.)</p>
16:00~17:00	基調講演 2	<p>Daniele Catteddu Chief Technology Officer, Cloud Security Alliance (同時通訳) 「GDPR やコンプライアンスの労力や継続的な保証。CSA がお手伝いします! (GDPR, compliance fatigue and continuous assurance: Let CSA help you!)」</p> <p>このプレゼンテーションでは、クラウドのガバナンス、保証、コンプライアンスに関する以下の3つの主要な問題点にフォーカスします。</p> <ul style="list-style-type: none"> - European General Data Protection Regulations (GDPR) - セキュリティ認証スキームの蔓延 - 継続保証 <p>本講演は、GDPR へのコンプライアンス、アカウントビリティと透明性の原則、継続的監査に基づく継続的保証プログラムの採用に関連する課題、さらにますます増加するクラウドセキュリティの国際認証およびコンプライアンススキームについて、これらの問題に対処するために CSA によって行われた作業を紹介します。</p> <p>(This presentation will focus on three key issues of cloud governance, assurance and compliance:</p> <ul style="list-style-type: none"> - The upcoming European General Data Protection Regulations (GDPR) - The proliferation of security certification schemes - Continuous assurance. <p>Daniele will provide an overview of challenges related the compliance to GDPR and the implementation of the principles of accountability and transparency, the challenges related to the adoption of continuous assurance program based on continuous auditing and the challenges related to the ever increasing number of National, Sectorial and International certification and compliance scheme for cloud security. After the definition of the challenges, Daniele will introduce the work done by CSA to address these issues in order to support the community and make the cloud market more effective and efficient.)</p>
17:00~17:30	招待講演 5	<p>桐山隼人氏 アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社 シニアセキュリティソリューションアーキテクト 「クラウドによるビジネスセキュリティの実現」</p> <p>ビジネス環境の変化に追従できる、適応型のセキュリティ戦略が注目を集めています。クラウド技術によってビジネスを安心・安全に遂行できる環境を構築・維持するためにできることを考えたいと思います。その中でも特に、クラウドネイティブな特徴でもある 1. リソース拡張性に基づく可用性、2. インフラ管理を容易にする可視性、3. プログラマブルな IT インフラ、を取り上げ AWS サービスがどのようにそれらを支援するかをご紹介します。</p>
17:30~17:40	閉会挨拶	<p>諸角昌宏 日本クラウドセキュリティアライアンス 業務執行理事/事務局長 CSA リサーチフェロー</p>

* 講演プログラムは予告なく変更いたします。以下の更新日を確認して、最新版をご参照ください。
2018年5月1日